

IV 「私たちが政府」が創るまがひがひ

課題領域	(1) 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	(2) 明日の藤沢を担う「藤沢」の子どもたちを育む環境	(3) 市民力・地域力による安心で安心して暮らせるまち	(4) 共に生き、共に創る地域社会の創出	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	(6) 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	(7) 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	(8) 公共資産の維持管理と有効活用	(9) 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出
(A) 市民生活の安定(安定・落ち着き・安らぎ)	1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること	8 市民自ら、人によりやさしい暮らしを育むこと	17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと	24 稼働や肩かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること	35 まちと自然環境の調和がとれていること	46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること	66 市民の財産である自然を守り、育てられていること	73 活気があり、開放的で温かいまちであること	
(B) 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	2 市民が自慢できるまちであること	9 子どもを安心して育てられる環境があること	19 治安の良い環境であること	26 子育て世代を支える環境が充実していること	37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること	48 豊かな緑に囲まれた生活が実現していること	67 移動や利用に当たり、誰でも利用できる道や施設があること	74 いつも自然の豊かさを感じられていること	
(C) 持続的活動(伝える・維持する)	4 藤沢市で活用できる様々な資源を有効活用していること	10 子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けられていること	20 安全・安心を高める活動が盛んであり、ポテンシャルが高いこと	28 いろいろな世代、いろいろな国の人たちと交流できること	39 身近にある緑が適切に保全されていること	60 市民の環境美化への意識を高める工夫がされていること	69 市民が利用する身近な施設が大切にされていること	77 藤沢の魅力がアイディアで発信されていること	
(D) 創造・推進活動(発展・チャレンジ)	5 協働で協働して、暮らしや取り組み活動が行われていること	11 地域の歴史文化を教育活動に活用していること	21 市民が協力しあい、安心して住みやすいまちであること	30 お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動していること	41 期前のとれと暮らすことが進められていること	51 先進的な環境対策がとられていること	70 様々な主体によって、身近な公共の場が維持管理されていること	79 市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること	
(E) 交流基盤(交流・つながり・連携)	6 誰でも気軽に市内の情報を発信したり、得ることができること	13 地域が子どもを里守り育てる環境であること	22 様々な世代が、快適に住みやすいまちであること	31 社会的弱者の方が、快適に過ごせるまちであること	42 市民同士が協力し合いながら暮らすこと	52 周辺自治体や他地域と共に環境対策を進めていること	71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること	80 市民と求職者が交流できる機会や場があること	
(F) 市民生活の基盤(学・育む・人材育成・仕組みづくり)	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること	23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること	32 人々が交流して、平和で多くの恵みのある社会であること	43 子供が大人になっても愛着の持てるまちであること	53 市民・地域が協力して持続可能な環境ができていくこと	81 地域の記憶や文化が継承され、発展すること	82 藤沢ならではの取り組みが実践されていること	

表 15 ふじさわ未来課題マトリックス (遠藤地区)

- ① 課題型の課題解決で進捗向上へ
- ② 強みや魅力の維持・向上を
- ③ より効率的に価値の創出を
- ④ 熱意と根拠ある未来戦略を